

羽村市こども計画(案)に関する意見公募手続の結果について

1 募集期間: 令和7年1月15日(水)から令和7年2月13日(火)まで

2 受け付けた意見数 5人、13件

番号	受け付けた意見	市の考え方
1	<p>●子宮頸癌予防接種の助成金を男の子が接種する場合にも出してもらいたい。 すでに男子を対象に補助を出している自治体もある。女子だけでなく男子も接種しなければ意味がない。男子が接種すれば男性特有の癌も防ぐこともできる。</p>	<p>こども計画は、市の子供・子育て施策の、今後5年間における施策ごとの取組の方向性を示すものとなります。いただいた御意見につきましては、国の定期接種化に向けた動向をみながら、今後、各施策の取組の方向性に基づく個別事業を推進する際の参考にさせていただきます。</p>
2	<p>●小規模で良いのでショッピングモールを市内に作って欲しい。</p>	<p>こども計画では、市民・団体・事業者の御協力をいただきながら、基本目標Ⅲ 施策4 子供の居場所づくりや、基本目標Ⅴ 施策3 安心して外出できる環境の整備に取り組んでいくこととしております。いただいた御意見</p>
3	<p>●駅前の西友の3階がいつまで経ってもがら空きなのが余計過疎を感じさせるのでどうにかしてほしい。</p>	<p>につきましては、今後、各施策の取組の方向性に基づく個別事業を推進する際の参考にさせていただきます。</p>
4	<p>●公園を綺麗に整備してほしい。 砂場には柵もなく猫が糞をしたりして不衛生で遊べない。ニットパークなども良い公園なのにゴミなどが多く汚くて残念な気持ちになる。</p>	<p>につきましては、今後、各施策の取組の方向性に基づく個別事業を推進する際の参考にさせていただきます。</p>
5	<p>●バスの運行がもう少し増えたらありがたい。</p>	<p>こども計画では、基本目標Ⅴ 施策3 安心して外出できる環境の整備の中で、子供や子育て家庭等のニーズを反映した遊び場作り</p>
6	<p>最近、市内公園の遊具が老朽化を理由に続々と撤去されていますが、子供達がのびのびと体を動かして遊べる遊具を設置していただきたいです(できたら近隣他市よりもっと充実した遊具)。ブランコ、鉄棒、雲梯、ジャングルジムなどは最低限として、子供達がよりダイナミックに遊べる環境を整えば身体能力向上に大いに役立つはずですし、そこに子供が集まればつられて大人も引率する事になるため、地域の活性化や治安向上にも寄与するのではと思います。私の子供達も遊具がないから公園に行ってもつまらないと言っています。あくまで子供たちの目線で、子供たちが生き生き楽しく遊んで学べる環境作りが子育てしやすい街の大前提と考えます。ご検討よろしくお願い致します。</p>	<p>につきましては、今後、各施策の取組の方向性に基づく個別事業を推進する際の参考にさせていただきます。</p>
7	<p>いつの時代でも、特に産業や研究などの世界で成果をおさめ、社会に貢献された人々(偉人なども)の全人が、「子ども期に抱いた好奇心、夢、それを育む動機や環境があったからこそ今につながっている。」と明言し、昨今は子どもたちがそういう環境に恵まれていない、ともおっしゃっています。勉学に励んでいる子どもも、学校になじめない子どもも、だれもが持っている「好奇心や夢の実現に向かう気概」を育む機会、場を設ける必要があると常々考え、活動もしてきました。</p> <p>いうまでもなく、ホモサピエンスが生き残れ、進化を遂げられたのは「ものを創る能力を得、協調することが出来たからだ」とあり、今もそれが人類の進歩、社会発展の原動力といわれています。本来子どもたちは、自由な発想で何かを創り出し、遊ぶ中で学びながら成長していくものだと思いますが、今はルールを学ぶことだけが重点に優先され、そうした体験する場がなく、与えられたもので我慢させられ、安全だとか責任だとかを前提にして、大人たちにとって楽な、都合の良い仕組みの中に置かれているようで(自身に置き換えて考えてみるとゾッとします。)その面では今の子どもたちは不幸のような気がします。</p> <p>「自分の好きなもの、夢のものを自分で考え、自分の手で創り上げる。」=多様な個性を発揮し創造力を身につけ、伸ばし、達成感を味わうことで、自信や自己肯定感が持て、友だちの輪も広がり、さらに勉学にも励めるようになっていくものだと思っています。</p> <p>10~7年ほど前の小学5、6年の時に工作教室に参加した生徒が、志望の理系に進学出来たという人、工作教室での興味から理系(大)に進んだという人(女子)、進学(大)が決まったので、工作の指導を手伝わせてほしいということで昨夏実行してくれた人、この4月から小学校の教師(市内)になり、子どもたちと一緒に楽しく学んでいきたいという人などなど、もちろん本人たちの努力と、いろいろなよい環境に恵まれた結果だと思っておりますが、5、6年生のその時のことも動機になったということを最近聞いてドキッとしました。また当時は思いもなかったことが実際に起きるんだということを仲間たちとも実感し、本当にありがたいことで、これからもご本人たちをさらに励ましていきたいと思っています。</p> <p>将来を担う子どもたちに必要な場でありながら学校では不足な環境を設けたい、その場の一つとして「自由もの作り子屋」(仮称)を提案するものです。いろいろ話をしながら自由に楽しめ、子どもも大人も生涯学習できる場。(案)概略を下記します。</p> <p>①対象 小学生(低学年は保護者付き)~18歳 ②参加費(保険料) 材料費自己負担(工作相談のみも受け) ③指導 基本市民ボランティア 学生 企業技術者など ④開催 隔週(土)(日)(夏休みは全週) ⑤工具備品など 当所は市民ボランティアが提供、必要に応じ予算化 ⑥会場(これが一番難点で、工具・機械備品などの設置上、一か所に固定が望ましいが、現状無理と考えられます。)</p> <p>・ゆとろぎ創作室 ・コミュセン ・社会福祉センター ・産業福祉センター など(児童館がふさわしい場ですが、スペースなし)。</p> <p>⑦年1回の作品発表会(ゆとろぎ展示室などで)</p> <p>現在、都内には同類の事業や活動は見当たりません。行政の所管として難点があれば、ボランティア団体立ち上げや企業などの協力を得たり、またNPOなどもあるかと考えます。</p> <p>不登校や引きこもりの子どもはいない、または最も少ない地域を目指し、大人になって羽村で育ってよかったと思えて、それを循環してくれる「人づくり羽村市」を目指し「こども計画」の中に加えられないでしょうか、ご検討いただければありがたく存じます。乱文にて失礼いたします。(E)</p>	<p>こども計画では、基本目標Ⅲ 施策3 地域で育む子供の健全な育成の中で、子供への体験活動の提供や関係機関・関係団体との連携を推進していくこととしております。いただいた御意見につきましては、今後、各施策の取組の方向性に基づく個別事業を推進する際の参考にさせていただきます。</p>

番号	受け付けた意見	市の考え方
8	<p>アンケート結果からも明らかな通り、市民は具体的な経済支援を求めています。しかしながら、具体的な経済支援に関する回答はなされず、このこども計画案策定に関する費用に関する回答もなされません。形ばかりのこども会議を開催するだけでなく、市として積極的に広く意見交換会を実施することや、市民の各種協議会に積極的に参加して、意見交換を行うことが求められます。</p> <p>市民は、どの職員がどんな思いで職務にあたっているかという点にまで関心を持っています。人手が足りないからこそ、住民と協働することが大切なのではないでしょうか？ 人員補充が必要なら、市民として人事や企画部に働きかけていきます。</p>	<p>こども計画では、基本目標Ⅴ 施策1 子育ての経済的負担の軽減を掲げ、それぞれの取組を推進していくこととしております。各施策については、市民・団体・事業者の御協力をいただきながら推進していく考えです。</p>
9	<p>・子ども計画に子どもの権利条約が盛り込まれているが、はたして大人も子供も理解しているのか、こどもや教育現場や保育現場など、子どもに携わる人々に学ぶ機会を提供してほしい。講座開催だけでなく、参考動画などの紹介などが望ましい。</p>	<p>こども計画では、基本目標Ⅰ 施策1 子供の権利の尊重の中で、こども基本法や児童の権利に関する条約の趣旨や内容の普及啓発に取り組んでいくこととしております。いただいた御意見につきましては、今後、各施策の取組の方向性に基づく個別事業を推進する際の参考にさせていただきます。</p>
10	<p>・ウェルビーイング(自分らしく生き生きと生きる幸せの実感)を持っている大人もこどもも少ないと思われる。特に子供の自己肯定感が低い傾向がある。自分を卑下する言葉を耳にすることがある。どう自己肯定感を高めたら良いか、家庭から保育教育現場から発信していく必要がある。</p>	<p>こども計画の第三章 計画の目指すものにおいて、「羽村市の全ての子どもが、日本国憲法、こども基本法及び児童の権利に関する条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会」を本計画が目指す社会として掲げています。</p> <p>目指す社会の実現に向けては、市だけでなく市民・団体・事業者と連携・協働して取り組んでいく必要があると考えています。市としても、様々な機会を通じて啓発事業等の実施に取り組んでまいります。</p>
11	<p>・居場所づくりを関係団体と作るがあるが、具体的にどうやっていくのか？助成金を出す、その団体の活動を支えるために会場使用料を無料にするなど、具体的にどうするかビジョンが見えない。話し合いの場を持つだけでは居場所づくりはできない。関係団体もボランティアが運営している。ボランティアに依存するだけではない行政の取り組む姿勢を打ち出してほしい。</p>	<p>こども計画では、基本目標Ⅲ 施策4の居場所づくりの中で、市が実施する居場所づくりの取組と市民・団体・事業者との連携による取組を掲げています。市としても、今後も活動主体ごとの強みを生かしながら、市民・団体・事業者と連携・協働し、基本目標の達成に向けて取り組んでまいります。いただいた御意見につきましては、今後、各施策の取組の方向性に基づく個別事業を推進する際の参考にさせていただきます。</p>
12	<p>・学校再編も言われる中、放課後や休日の子どもの居場所が減る事態になる。中学生も部活動の地域移行により、生活リズム、居場所が変わるだろう。子ども計画を進める中で、ぜひ教育現場や地域と共に子どもの居場所をどう維持していくかを検討してほしい。</p>	
13	<p>・現在、子どもの居場所となっている児童館も老朽化が進んでいる。地域会館も併設されている児童館もあることから、子どもが減る傾向ではあるが、少なくなる子どもを大切にするための取り組みとして、子どもの居場所を確保してほしい。</p>	<p>こども計画では、基本目標Ⅲ 施策4の居場所づくりの中で、既存公共施設などを活用した居場所づくりに取り組むこととしており、また、基本目標Ⅴ 施策3 安心して外出できる環境の整備の中で、子供や子育て世帯が多く利用する公共施設について、利用者のニーズに基づいた計画的な維持管理・更新・整備に取り組んでいくこととしています。いただいた御意見につきましては、今後、各施策の取組の方向性に基づく個別事業を推進する際の参考にさせていただきます。</p>